

第2回 6月25日(土)

今回のテーマは、「言葉をつかってやる気を高める」でした。

「やる気」の誤解…

- ・楽しければ、やる気が出る
- ・やる気は待っていれば出てくる
- ・やる気を高めるためにご褒美を使うのはよくない
- ・人はやる気がないと行動しない

〈協議〉対応方法の検討

朝、学校に来るが「お腹が痛い」「頭が痛い」などと言って教室に入ろうとしない。やむなく保健室で体調を見てみるが、特に悪い所もない様子である。そこで、「教室に行きなさい。行けばみんな待っているよ。」などと声をかけるが、どうしても行こうとしない。

→ 保護者に連絡、しかりつける、無理やり力ずくで教室に入れる、さらにしかりつける

○共感力を高めてやる気を引き出す

○迷路に迷い込みがちな対応

○体験したことがなくても、共感是可以る 共感の鍵は比喻

○質問を使い分ける オープンクエスチョンとクローズドクエスチョン

今回の講座では、様々なエクササイズに取り組みました。

受講者からの受講後の感想の一部を以下に紹介します。

- ・ 共感することが大事だということを再確認できました。
- ・ 内容は分かったが、実際に使うのは難しかったです。だけど、使えるようになったら、もっと児童対応がうまくいくように思います。「やらないより、失敗した方がよい」と思って、どんどんチャレンジしてみます。
- ・ 提案の方法や共感など実践し、子ども達と接していければと思う。私は今回の講座内容はすぐにでも実践しようと思えたので、とても貴重な時間でした。